



松韻会会報

Vol.3

発行:松韻会事務局
〒989-3128
宮城県仙台市青葉区愛子
中央4丁目16-1
FAX: 022-391-6144
E-mail: jimukyoku-h
@snct-dosokai.jp
印刷: (株)アクトジャパン

平成24年度松韻会総会報告

平成24年6月16日(土)にホテルオパレス仙台にて、平成24年度松韻会総会が行われました。開会宣言、会長挨拶、議長選出の後、事務局から左記の事項についての報告が行われました。

- 1 平成23年度事業報告
- 2 平成23年度決算報告
- 監査報告

その後、左記の決議案が出され、満場一致で承認されました。

- 1 平成24年度事業計画(案)

松韻会会長挨拶

同窓会会員の皆様、明けましておめでとうございます。

明けて一昨年の大震災では会員の皆様も心身ともに、多大なご苦労をされたことと拝察しております。新年にあたり心より、その活躍が実り、復興に向けた兆しが現実のものとなるよう祈念申し上げます。また本年は母校にとって、高度化再編4年目の年となり名実ともに更なる発展を遂げることを期待するものでもあります。

さて、私は昨年6月の松韻会総会にて会長の任を拝命しました高専3期電波通信学科卒業で、現在は東北放送に勤務し総務と技術を担当しています。初めての紙面での挨拶となりますがこれからどうぞ宜しくお願いします。



松韻会会長
大江 章

今年度の活動について近況をご報告します。「昔トツイ今ネット」という世の中で、デモ版HPの作成に向けて鋭意努力中です。是非、広告の掲載などご意見を事務局にお問合わせ願います。

昨年10月20日、21日には高専祭ホームカミングデー協力の一環で同窓会ブース「懐かし学の学び舎」を展示しました。そこには「電波」ならではの気質というかDNAを感じ、長い歴史に支えられた「こころの財産」も垣間見られる展示となりました。同時に松韻会の名前の由来となった松韻寮の昼の試食会もあり、カミングデーに相応しい2日間となりました。また東京で開催された高専ロボコン全国大会(11月25日開催)では参

決議後、東北支部、関東支部、北海道支部から活動報告があり、議長解任、新役員挨拶の後、閉会宣言をもって総会は終了しました。平成24・25年度の松韻会役員および事務局長は左記の方々です。(敬称略)

・会長	・副会長
電波通信学科3期 大江 章	電波通信学科3期 渡辺 秀博
	電波通信学科4期 遠藤 好朗
	電波通信学科8期 門馬 久志
	情報工学科7期 工藤 敏仁
	電波通信学科9期 出員 隆志
	東北支部長
	電波通信学科9期 出員 隆志
	関東支部長
	電波通信学科5期 山内 克也
	北海道支部長
	電波通信学科5期 根本 孝一
	専攻科17期
	・監事
	電波通信学科7期 庄子 直人
	電子工学科8期 林 忠之
	電波通信学科11期 里舘 光春
・参与	
本科16期 及川 明	

東北支部だより

東北支部長 出員 隆志
(電波通信学科9期)

会員の皆様、新年あけましておめでとございます。昨年は年頭の挨拶が躊躇われる状況でしたが、



専攻科17期 藁科 秀男
本科22期 佐々木 勇
電波通信学科1期 高橋 勤
事務局長 奥村 俊昭
情報工学科11期 末永 貴俊
副事務局長 電子システム工学専攻4期

加する現役学生へ(昼食(弁当)の差し入れと応援隊を関東支部より派遣して頂きました。支部同窓生の皆さまには感謝申し上げます。

今後も東北無線電信講習所からたどる創基70年、国立仙台電波高校から63年、電波高専でも40年を超える本年は記念式典やシンポジウムなどのポストイベントが開催され、同窓会としてもこれら行事に協力していきたいので会員皆さまのより一層のご理解とご協力をお願いして挨拶にかえさせていただきます。

次期においては、せっかく母校と同じ東北の地にいますので、現役学生との交流の機会を持ちたいと考えております。既にクラブ活動等で現役学生と交流されている方、また、今後やってみようという方、お待ちしております。是非、同窓会事務局までご連絡を頂きますようお願いいたします。

新年のご挨拶と2013年度 関東支部懇親会のご案内

関東支部長 山内 克也
(電波通信学科5期)

新年明けましておめでとうございます。

新春を迎え皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。また、旧年中は、大変お世話になりました。新年のご挨拶と、お陰様で関東支部も継続的な活動をしていただき、新年を迎えることができました。これもひとえに、仙台高専同窓会本部、松韻会本部並びに松韻会関東支部会員の皆様のご理解とご協力の賜物と、関東支部役員・幹事一同より感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、本年は、仙台高専同窓会総会と松韻会総会(含む関東支部総会)を6月8日に東京地区にて開催することが決定しております。3年に1度のイベントとなりますので、本総会を盛大に開催するためにも、関東圏に在住の会員の皆さんの多数のご参加をお待ち申し上げます。

うお願ひいたします。

北海道支部だより

北海道支部長 根本 孝一
(専攻科17期)

皆様におかれましては、清々しい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

北海道支部における昨年の活動を振り返って見ますと、北海道在住の同窓生の動向把握に努めました。支部総会開催案内にあわせて近況等確認し、後日「会員だより」としてお知らせした次第です。その後、会員の皆様のご協力を得て支那リストの精度向上を引き

関東支部役員の連絡先は以下のとおりです。

- ①山内克也: 090-15800-6308
katsuya.yamauchi@ainfotec.co.jp
- ②中川 篤: 03-19978-1254
03-19978-1254
at-rakagawa@kddi.com
- ③萩原尚志: 090-16123-1564
1
takeshi.hogihara@netemail.ne.jp

最後に、昨年の関東支部の活動状況について簡単に報告申し上げます。紙面の都合上詳しくは報告できませんがご了承の程よろしくお願ひ申し上げます。

- ①関東支部懇親会
(2012年6月22日)
- ②東日本大震災義援金活動
(2012年6月22日)
- ③高専ロボコン大会全国大会出場激励
(2012年11月25日)
- ④他校同窓会との交流
(秋朋会東京支部、七宝会関東支部、熊本電波同窓会関東支部)

続き図っております。

六月に支部総会兼懇親会の開催。仙台高専同窓会への出席。七月には「会員宅訪問(増毛町の川谷先輩宅)」を実施。九月にはこれまでの活動をまとめ、支部報として会員の皆様へお知らせしたところです。二月に「支部懇親会」を開催。先の動向把握により新たに判明した方々にもご案内をさせていただきました。遠方からの参加者を交え盛況に行われたところです。今年四月には、支部総会のご案内を差し上げますので皆様のご出席をいただければ幸いです。また、返信の近況メッセージは「会員だより」としてお名前とともに掲載し支部会員の皆様へお知らせいたします。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

サッカー部 東北地区大会優勝!!



佐藤 瞭
電子工学科5年

私たちの新チームは、公式戦初戦0-1から始まる酷いものでした。そこから基礎体力向上に取り組み続け、5年生が4人と少なく後輩達との連携が求められた今年度。不安はすぐに「このチームなら」という期待に変わりました。初めの2試合は敗北でも無得点に終わらず、その後の試合は引き分けと勝利で負けなし。さらに毎試合得点という今まで欠けていた得点力もつき、迎えた高専大会。初戦では得点力が爆発し快勝。続く2試合目は、相手に先制されるも向上された体力で粘り走り勝った。連勝の勢いそのままに、決勝戦でも勝利。期待は、9年ぶりの全国大会出場。そして、電波高専時代から通じて初となる東北地区



大会優勝という形になりました。全国大会は、惜しくも初戦敗退だったが、私にも後輩達にも、全国大会の雰囲気、レベルを知る貴重な経験ができたと思います。

この経験をもとに、来年度は今年度を超える活躍をしてほしいと思います。

ETロボコン 報告

本間 洋光



情報電子システム工学専攻1年

9月22日(土)に岩手県盛岡市のいわて県民情報交流センターで開催されたETソフトウェアデザインロボコンテスト(愛称:ETロボコン)に本科3年生から専攻科2年生の計7名で構成された広瀬キャンパス学生チームが出場しました。この大会はロボットの走行スピードを競う競技部門と、事前に提出された設計書(モデル)の優劣を競うモデル部門をあわせて総合順位が決定されます。また、学生だけでなく、社会人や高校生も参加します。

本校からETロボコンへの参加は今年で2度目になりました。モデルの品質によって上位入賞の可能性が決まってしまう大会の性質から、審査員が理解しやすいシンプルでモデル作成を心がけ取り組んで参りました。しかし、私達には良いモデルがどのようなモデルなのかを判断する知識や経験が不足し、モデル作成は非常に難しい作業となり

電気自動車エコーラン 競技大会参戦報告

2012

メカトロクス教育推進室
大泉 哲哉

去る9月1日、2日に宮城県村田町スポーツランドSUGOの国際レーシングコースで「2012電気自動車エコーラン競技大会」(SUGO)が開催され、本校広瀬キャンパスから7チーム、名取広瀬キャンパスから1チーム、合わせて8チームがエコーラン競技に挑戦しました。この競技大会はその意義の高さから、仙台高等専門学校も、昨年から共催団体の一つになって開催を支援しています。

本校からの参加は、駆動・回生システム研究のための「SUGO」(SUGO)と「SUGO」2、また、模型を愛する会MOAの「HP-101」ならびに電子制御99年卒の久保敬氏をリーダーとするOBチームの「Eclair」(くわえて、本校名取キャンパス自動車部チーム「@」(Pony) (顧問:高橋孝先生、石川信幸先生)として、製作教室グループとして、本校女子チーム「@」のCosmo Bright、模型を愛する会1年生MOA、2年生チームの「HP-101」、本校科学部と無線部の1年生チームの「GTR」、これら4に加え、長岡技術科学大学へ本年4月に進学した今田祥友君らのNAZEスーパードライバーの「すげーわっCAR」、電子制御94年卒、豊橋技術科学大学の今村孝氏のチームC6の「モスはやぶさ」の合計10台が参加しました。

今年の競技大会は、自動車メーカーやモーターメーカーをはじめ、大学・高校・中学チームまで合計44チームが集い、41チームが出走してレースが行われました。



このレースは、競技規定で指定された規格の鉛バッテリー(公称270Whをエネルギーとして、1周約3.7km、10%の長い上り坂を有するコースを2時間で何周走行するかを競うレースです。本年は、天候に恵まれ、良い成績が期待されました。



SEV-K12、SEV-K12は、記録更新を目指して卒業研究で開発された車両で、前日の練習走行ではコース周回をしていたのですが、両車両とも回路の不具合発生でヒートアップ、SEV-K12は不具合のある回路モジュールを切り離して、競技後半から出走し、総合上位チームに並ぶ驚異的なラップタイムで挽回して、なんとか総合で20位となりました。SEV-K12は、競技終了直前に復帰しましたが周回を完了できず、順位がつかないという大変残念な結果に終わりました。

ロボコン 全国大会出場

本年も後援会をはじめ、多くの方々から多大なご支援を戴きました。また昨年同様、仙台高専同窓会松韻会東北支部から多大なご支援をいただき、後輩たちのものづくり教育活動を励ましていただきました。お陰で、本校からはOBも含め全部で10チームが参加できました。チーム一同、心から感謝申し上げますとともに、今後も多くの皆様のご支援をお願い申し上げます。

今年の高専ロボコンのテーマは「ベスト・パートナー」で、ロボットと人間が共同でボールを集める、ゴールに向かって投げ入れる競技です。昨年度までは無線通信を使ってロボットを操作していましたが、今年はコントローラを使わずにロボットとコミュニケーションを取る必要となりました。広瀬キャンパスからは亀をモチーフにした低重心で安定した動きが特徴の科学部チームと、カメラで撮影したゴールを自動追尾し、フィールド上のどこからでもゴールを狙えるロングショットが可能な有志チームが東北地区大会に出場しました。その結果、科学部チームが準優勝して全国大会進出、有志チームは1回戦で敗退したものの



の特別賞をいただきました。全国大会に出場した科学部チームは、組み合わせ抽選会でシード権を獲得し、2回戦からの出場でした。練習用ボールと試合用ボールに違いがあり、射出機構の調整に苦しみましたが試合に勝利し、ベスト8に進出しました。

お忙しい中、中地区大会および全国大会に駆けつけてくださった同窓生の皆様、応援ありがとうございました。

エコーラン参加 報告

久保 敬 (電子制御工学科11期)

電子制御工学科11期の久保敬です。制御11期高橋俊明、制御14期小室祐介、電子20期(2000年度卒)會田裕矢の4人で毎年「生サキ」で行われる本競技に「(有)大泉工業」というチーム名で参加しています。本競技は規定により定められたバッテリーを用いて走った距離を競う競技です。今年は新型のモーター駆動回路を搭載し自己ベストを更新に望みましたが、回路の能力を超えた電流が流れたため回路が破損してしまい完走することができませんでした。

おおよその改善事項をメンバー内で共有した上で次年度の大会に向けて改善改良を加えて自己ベストの更新を図りたいと思います。同窓会には本チームの活動を援助していただいております。今後共よろしくお願ひします。

『五期会』だより!

五期会事務局
千葉定一

一、在仙関係

① 恒例の親睦会 4月21日
開花遅れで分咲きでしたが、予定通り開催。② 第二回コンペ 5月1日
表蔵王国際GC 参加者8名
優勝 阿部 福治③ 第二回コンペ 8月9日
泉国際GC 参加者11名
優勝 佐々木勇前会長④ 『暑気払い』8月9日
作並かたくりの宿
参加者15名

(古河市の藤田和弘、盛岡の友博参加)

⑤ 今後の予定

・ 第三回コンペ 12月13日
おおさとGC(在仙8名)・ H25新年会 3月上旬
かつらや(小原温泉)・ H25第二回コンペ 3月上旬
宮城蔵王GCか仙台南GC

・ 『喜寿祝』祝賀会 11月上旬

電波通信学科18期クラス会報告



9月8日(土)9日(日)と、鳴子温泉の鳴子ホテルにて、『最後の電波通信学科18期』のクラス会を、無事に楽しく終えることができました。

入学時は40名、卒業時は28名と、なかなかサバイバルな5年間でした。

今回は、福岡・静岡・関東地方・東北地方から12名の参加でした。

卒業して20年も経つと、お互いに色んな経験をしていますので、社会人としての立場も、生き方も様々ですが、電波高専の中で共有した時間は、何年経っても色あせることなく、再会した瞬間から、学生時代の顔に戻る仲間っていいなと、改めて思い、次回クラス

二、関東以西会関係

① 『以西会』 10月18日
台風21号接近さなか、常宿の熱海ホテル弥生で開催。体調不良者が目立つ昨今、11名の参加。近況報告、質問、迷回答が飛びかい、あつという間に時間切れ。無線放浪歌で中締め。二次会は政治、経済、社会混乱振に対する徹底批判があり、H25は『喜寿祝』に参加するため本会の開催は中止する事を満場一致で決定し、おひらきとした。国立仙台電波高専 本科五期生
関東以西在住者 同期会
2012年10月18日星野 ちとせ(旧姓・久保)
(電波通信学科18期)

ス会は、『50歳で元気(健康で)』に再会』を約束し、解散となりました。



卒業60周年記念同級会

竹田 哲男
(本科2期)

梅雨の季節の中で開催した『本科二期卒業60周年記念同級会』は、幸いにも全国的に人気中の開業間もない東京スカイツリーを屋形舟から観賞する案で纏まり、6月25日に開催しました。

当日は曇りがちの天候でしたが、暮れゆく隅田川を屋形舟に乗っての宴会となり、暮色の中にライトアップされた東京スカイツリーを眺めながら親交を温めることになりました。

今回は、在仙と在京が中心の同級生に、大阪から久しぶりに1名が加わって16名(クラスの3分の1の人数)の参加でしたが、和気あいあいと歳を感じさせない賑やかな中で宴会が始まりました。話は何時の間にか、中江時代の気持ちにに戻り、学生時代と変わらない和やかな雰囲気の中で3時間に及ぶ屋形舟での宴会は終わりに近づき、東京スカイツリーがライトアップされると歓声があがり、宴会を中断し、東京土産にとカメラに納めていました。

本科17同期会を
開催同期会世話人代表
高橋 秀昭
(本科17期)

仙台電波高等学校17期生の同期会を平成24年5月19日に仙台で開催した。

昭和42年に学校を卒業してから、45年振りの再会となった。東京地区から9名、北海道地区から1名、仙台地区24名の総人数34名も集合した。

昨年の東日本大震災と同期生11名の冥福を祈り、黙祷を行った後に会が始まり、ハーモニカ演奏に基づき、『無線放浪歌』を皆で合唱し、更に宴が盛況を呈した。直ぐに45年前の学生に戻り、懐かし中、各自現在までの現況を報告したりしたので、時間が不足してしまい、店の方からクレームがでるくらい楽しい時間を過ごしました。



2012.5.19 仙台電波高 本科17期 同期会 於仙台

やはり同期生は、良いものですね。次回の件も話せないまま終了となった同期会でした。

本科二期卒業60周年記念同級会
東京隅田川の屋形舟(隅田川五重塔同級会)

ホテルに帰っても、久しぶりにお会いした懐かしさは途切れず、60年の歳月を振り返って当時を懐かしみ、お互い傘寿を迎え、又は迎える歳になり、健康が心配される年代に達しておりますが、衰えを感じさせないほどの元気がありました。何時の日かの再会を誓い合い、お互い健康第一で過ごすよう気遣い、手を握り、肩を抱き合って別れを惜しみつつそれぞれ帰宅の途につきました。

「出会いから50周年記念」
本科16期生同期会開催赤井澤 正利
(本科16期)

昭和38年の入学以来50周年を迎えた本科16期生は、9月8日、9日の絆の強化と大震災支援をテーマに、全国各地から36名が集い、南三陸ホテル親洋で記念同期会を開催しました。

久しぶりに会う友もあり、最初は大きく変わった風貌に戸惑いながらも、50年の時間を越えてすぐに打解け親交を深めることができました。

同期会では、物故者10名と東日本大震災犠牲者に黙祷を捧げ、北海道から参加の太田満昭君の乾杯で開宴、トーンソーで祝電披露、50年前のことクイズ、カラオケ、吉野新平君の三味線演奏、最後は恒例の無線放浪歌、そして九州から参加の二階堂裕君の1本締めで御開きとなりました。

その後、幹事部屋で行われた2次会には、ほとんどの同期生が集まり、持参の泡盛や岩倉君収穫の枝豆を味わいながら、懐かしい話に花が咲き、夜の更けるのも忘れるほどでした。

翌日の閉会式では、前日実施した16期杯ゴルフ選手権の表彰式が行われ、優勝浅野民主君、2位鹿嶋孝君が表彰されました。

平成14年度仙台電波高専電子工学科
卒業生の同窓会を開催阿部 貴美
(電子工学科22期)

10月13日に東京・赤坂におきまして、電子工学科22期の同窓会を開催いたしました。

卒業からちょうど10年という節目の年に、これまで連絡の途絶えていた卒業生に連絡を取り、卒業生15名ほどが参加するに至りました。

また、お世話になった竹内先生にも参加していただき、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

今回の同窓会開催によって、連絡先の更新も出来ましたし、これを機に、毎年同窓会を開くことも決定しました。



最後に、「次回同期会も、健康で、更に多くの同期とともに集まろう!」と誓い合い、散会しました。50周年記念の取組として発行した文集『無線塔(第2号)』は、55名の近況を掲載、欠席者を含め93名の同期全員に配布されました。また、被災地視察や、会費の中から全員に復興協力支援金を渡し、地元品購入を通じ、私達にできる復興支援への取組としました。

平成 24 年度 松緑会予算書

収入	5,110,000 円
支出	5,110,000 円

収入の部

項 目	24年度予算額	23年度決算額	備 考
前年度繰越金	1,360,821	495,482	前年度繰越金
会 費	2,600,000	2,780,055	1,300名×1,000円
寄 付 金	10,000	15,000	
入 会 金	332,000	300,800	高専38期生166名×1,000円
預金金利	179	125	七十七・仙台・楽天銀行
地域活動費	540,000	946,200	仙台高専同窓会より(新入会員入会金)
補助活動費	267,000	310,543	自動販売機収受機
雑 収 入	0	0	
合 計	5,110,000	4,938,435	

支出の部

項 目	24年度予算額	23年度決算額	備 考
会館積立金	100,000	100,000	定期預金(残高 約1,133万円)
印刷 費	1,000,000	909,494	第3、4号松緑会報、封筒、郵便用紙、他
会 費 費	400,000	153,420	総会、役員会、委員会集会、他
通 信 費	900,000	772,562	会報、総会、役員会、委員会案内、他
事務 費	700,000	420,134	旅費、名簿台帳整理費、宛名電算処理、他
迎光費	100,000	17,400	ホームページ活性化調査費、レンタルサーバ費
服 装 費	100,000	52,114	祝電、市電、布製金
学生活動補助費	400,000	155,000	高専校、エコロン、ホームカミングデー
支店活動費	600,000	500,000	東北支店(10万円)関東(30万円)北海道(10万円)支部活動費
同窓会活動補助費	150,000	115,000	同窓会への補助
予 備 費	600,000	0	
合 計	5,110,000	5,195,624	

専攻科16期 鈴木喜久男
地元(唐桑町鮪立)の鰹一本釣大

本科2期 熊谷 静夫
メカとエレキの合体に「アリヤ？」

本	科	第	8	期	小林	英雄氏
本	科	第	10	期	丹野	彰義氏
本	科	第	19	期	白鷺	吉矢氏
本	科	第	20	期	高橋	利明氏
專	攻	科	第	3	安藤	勉氏
專	攻	科	第	5	碓井	甲子郎氏
專	攻	科	第	5	菊池	誠紀氏
專	攻	科	第	7	佐々木	吉彦氏
專	攻	科	第	11	村上	政義氏
第	一	別	科	期	梅津	仁氏
第	一	別	科	期	沢入	悦司氏
第	一	別	科	期	柳原	貞氏
第	一	別	科	期	山田	貞夫氏
第	一	別	科	期	相澤	淳一氏
第	二	別	科	期	阿部	禎氏
第	二	別	科	期	佐藤	孝氏
電	波	通	信	科	遠藤	幸司氏
電	波	通	信	科	山崎	宏氏
情	報	工	学	科	小林	真樹氏

謹んでご冥福をお祈り致します。

松願会会員の皆様、あけましておめでとございます。
今回の松願会会報は、仙台高専同窓会会報との2部構成でお届けさせていただきます。一部、記事の重複がありますが、そのあたりはてとつておいていただければ幸いです。
さて、今回の会報ですが、いつものように総会後の5月に発行を予定しております。今号からあまり間が無いということで、コンテツクの不足が予想されます。是非、皆様からのご寄稿をよろしくお願いいたします。